

.....

.....

.....

1

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[40]歳、 勤続年数[16]年、 現場経験年数[8] 年、 階級[消防司令]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [車長]
○当事者 B	年齢[40]歳、 勤続年数[21]年、 現場経験年数[18]年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
○当事者 C	年齢[50]歳、 勤続年数[29]年、 現場経験年数[26]年、 階級[消防士]、 同様の活動 [初めて]、 任務 [隊員]
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

1 1. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	B が	2 階西側開口部に路上注水活動した。	
経過 2	B、C が	1 階西側開口部に 3 連はしごを架梯した。	
経過 3	C が	1 階西側開口部を破壊し、内部を確認した。	火災現象等はなかった。
経過 4	B、C が	1 階西側開口部の上部にはしご架梯した。	
経過 5	A、B、C が	はしご登梯、1 階屋根上にて注水活動した。	
経過 6	A、B、C が	1 階西側開口部から火炎が噴出した。	退路を断たれた。
経過 7	A、B、C が	火勢が衰弱した時点で避難した。	
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

.....

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

避難・退避がうまくいった。他隊(員)との連携活動がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

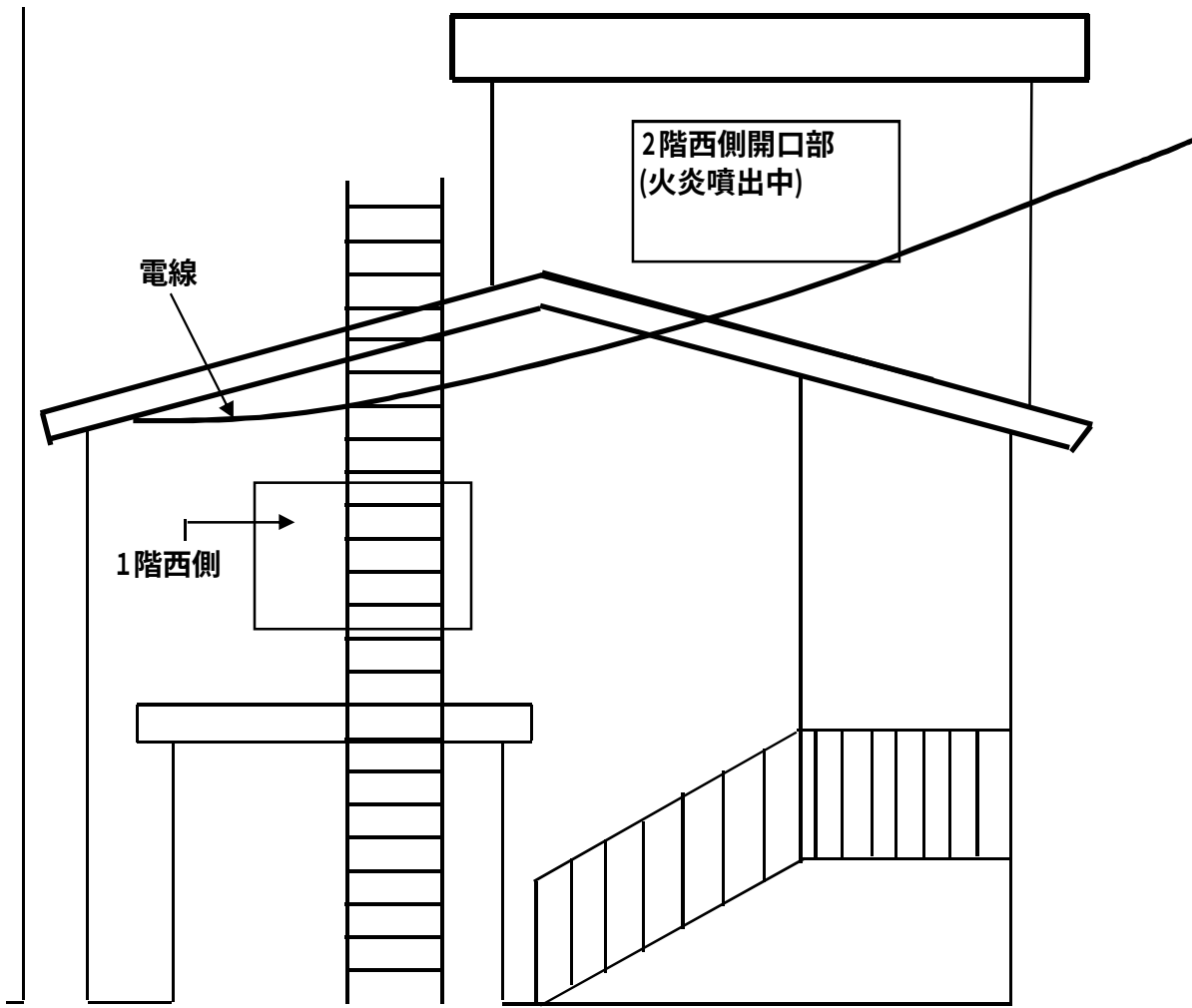
・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

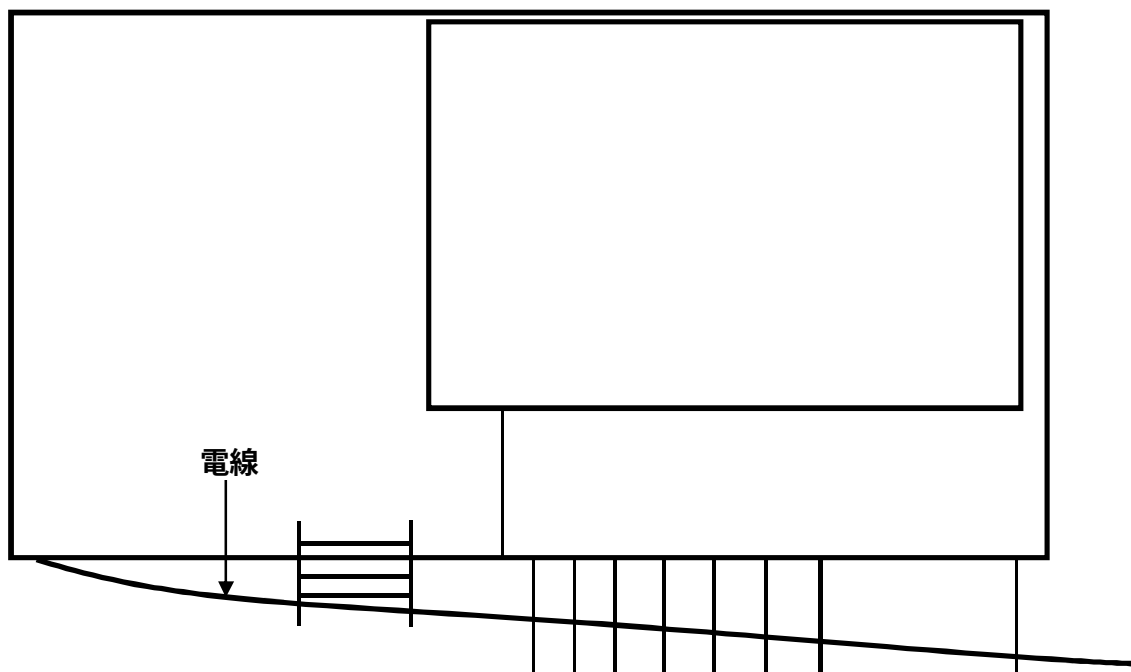
l. その他の理由があった。

はい：状況判断のミス

ヒヤリハット事例 図面



西側正面から見た図



上方からみた図

・発生日時：平成 19年 7月 13日 午後1時頃

経過	現場の状況	車長	隊員A	隊員B	備考
		車長／消防司令 ・年齢40歳 ・勤続 16年 ・現場 8年 ・同様の活動:初めて	隊員／消防士長 ・年齢 40 歳 ・勤続21年 ・現場18年 ・同様の活動:初めて	隊員／消防士 ・年齢50歳 ・勤続29年 ・現場26 年 ・同様の活動:初めて	
出動指令 出動途上 現場到着 活動初期 活動中期 活動後期	出動指令				火災現象等はなかった。
		現場到着			
	防火造2階建て一般住宅で、2階西側開口部から火炎が噴出	2階西側開口部に路上注水活動	1階西側開口部に3連はしごを架梯	1階西側開口部を破壊	
				内部を確認	
	電線障害によりはしご架梯場所が限られていた	1階西側開口部の上部にはしご架梯			
		はしご登梯			
		1階屋根上にて注水活動			
	1階西側開口部から火炎が噴出	退路を断たれた			
	火勢が衰弱	避難した			
◎ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？					
○直接的な原因:状況判断に問題があった。行動の意志決定に問題があった。 ・避難・退避がうまくいった。 ・他隊(員)との連携活動がうまくいった。					

◎ヒヤリハットが起きた背後要因	
	(心理・体調について) ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 (指揮・管理について) ・指示内容に誤り・偏りがあった。 ・隊員の連携が不十分だった。 (その他) ・状況判断のミス